



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 6. 11

下水道機構の『新技術情報』 第49号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



関東地方も梅雨入りしました。ところで「梅雨」はなぜ梅の雨なのでしょう。調べてみるとこの時期は梅の実が熟す頃であるからという説や、この時期は湿度が高くてカビが生えやすいことから「黴雨（ばいう）」と呼ばれ、これが同じ音の梅雨に転じたという説などがあるそうです。皆さん、ご存知でした？

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第49号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

■□■□トピックス■□■□■

★インフォメーション

・第56回 下水道新技術セミナー（東京会場6月8日、大阪会場6月1日）を開催しました

・平成24年度技術マニュアル活用講習会を7月に開催します！

★機構の動き

・今週は、6月14日(木)に横浜市環境創造局 折居下水道施設整備課長、小原下水道設備課長を講師にお迎えし、「横浜市における下水処理施設等の計画的な修繕・改築への取り組み」をテーマに技術サロンを開催します

★Tea Break

・父の日 （研究第一部 長靴いっばいさんからの投稿です）

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

・6月8日(金)開催の第56回下水道新技術セミナー（東京会場）の様子をお届けします！

・ボイスレコーダーの忘れ物をお預かりしています（@新技術セミナー東京会場）

★国からの情報

・6月7日 付け下水道ホットインフォメーション

.....  
インフォメーション （最新の話です）  
.....

●第56回 下水道新技術セミナー（東京会場6月8日、大阪会場6月1日）を開催しました。

今回のテーマは「下水道における地震・津波対策」です。震災から1年、下水道事業各分野において様々な対策の検討が進められてきています。本セミナーでは、それぞれの分野等における最新のホットな情報をご紹介します。基調講演では、明治大学 政治経済学研究科・危機管理研究センターの中林特任教授から「地域防災計画からBCPへの展開」のご講演をいただきました。中林特任教授は、この度発行された下水道BCP策定

マニュアル～第2版～（地震・津波編）において、下水道BCP策定マニュアル（地震・津波編）検討委員会委員長として改訂の検討に係わっています。自治体においても、役所や職員の被災を想定した上で、どの災害対応業務をどの順番(重要性)で、いつまでに対応すべきか等を計画する自治体全体のBCPの策定が必要であるが、まずは、個別部門として下水道BCPを先導的に実施することが重要であると述べられていました。

また、特別講演では、国交省国土技術政策総合研究所 堀江下水道研究部長から、液状化による下水道管路被害、津波による処理場・ポンプ場被害、下水汚泥の放射能汚染、災害支援から見えた課題や下水道地震・津波対策技術検討委員会の提言等、東日本大震災における被害総括と今後の対応のあり方など幅広くご講演いただきました。

関連報告では、宮城県土木部下水道課三宅技術補佐から、被災状況、被災直後に壁に貼りだした手書きの用紙での情報共有など初期対応の状況や流域下水道における仮沈殿池等による段階的な処理機能向上に向けた復旧の取り組みなど、実際に被災された現場の生の声で説明いただきました。

また、(株)東芝 東北復興推進室の田村副室長からは、被害を受けた浄化センター等の設備面の被害状況や仮復旧工事の対応及び大被災を経験してわかった下水道設備の現状と課題(ハード面・ソフト面)のご説明がありました。最後に、当機構 尾崎研究第一部長からは、当機構が国交省の政策支援として取り組んだBCP策定・マニュアル改訂と現在実施中の津波シミュレーションを用いた下水処理場の耐津波対策の共同研究について説明いたしました。

#### ●平成24年度技術マニュアル活用講習会を7月に開催します！

本機構では、地方公共団体やコンサルタント等の実務担当技術者の皆様が新技術を採用する際の客観的判断資料としていただくため、公共団体や民間企業との共同研究の成果である「技術マニュアル」等を発刊し、下水道関係機関に広く情報提供しております。そのマニュアルについて「技術マニュアル活用講習会」を下記の日程で開催します。

- ・7月20日(金) 13:20～16:40(東京会場@機構会議室)
- ・7月27日(金) 13:20～16:40(神戸会場@神戸国際展示場2号館2階2B会議室)

※下水道展の併催行事として開催します。

今回の講習内容は下記のとおりです。

- (1) セラミック平膜を用いた循環式硝化脱窒型膜分離活性汚泥法技術資料
- (2) 下水道用マンホールふたの計画的な維持管理と改築に関する技術マニュアル
- (3) 衝撃弾性波検査法による管路診断技術資料
- (4) 監視システムのリスク等低減への活用に関する技術資料
- (5) 監視システムのリスク等低減への活用に関する技術資料

担当研究員よりマニュアルの内容について、詳しく解説いたしますので、ぜひこの機会にご参加いただき、業務にご活用いただければと思います。なお、公共団体の方は無料です。

※講習会の内容、申し込みはこちら → <http://www.jiwet.jp/school/school-05-07.htm>

---

機構の動き (機構の行事予定です)

---

#### ●6月14日(木)17:00～18:00(場所:下水道機構8階会議室)

第305回 技術サロン(テーマ:横浜市における下水処理施設等の計画的な修繕・改築)

への取り組み、講師：横浜市環境創造局 折居下水道施設整備課長、小原下水道施設整備課長)

※参加お申し込みはコチラ→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-305.htm>

●6月26日(火)10:00～12:00(下水道機構8階 特別会議室)

第46回 理事会

●6月27日(水)10:00～12:00(下水道機構8階 特別会議室)

第36回 評議員会

●6月29日(木)13:00～17:30(下水道機構8階 特別会議室)

第1回 審査証明委員会

---

Tea Break (機構職員の感じるまま)

---

●父の日 (研究第一部 長靴いっばいさんからの投稿です)

昨年まで娘が通っていた幼稚園では、例年6月半ばのこの時期に保護者参観日が開催されていました。6月第3日曜日の父の日に合わせて設定されたこの参観日には、筆立てだったり似顔絵だったり、家族をテーマにした子供の作品を受け取るのが通例となっていました。子供自身から手渡されなければ、どれが我が娘の作品でどれが私なのか判別できない作品ばかりでしたが、いざ娘が小学校に上がりそのような機会が無くなってみると、寂しさを感じます。そして今年も父の日を、我が娘は果たして意識してくれるかしらと。

翻って我が父の誕生日は6月12日と、まさに父の日と同じこの時期なのですが、最近は何礼してばかり。最近めっきり体も弱くなってしまった父に、今年の日には顔を見せに実家に帰ろうかと思っています。何気なく、我が娘を誘って。

---

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です♪)

---

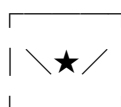
●6月8日(金)開催の第56回下水道新技術セミナー(東京会場)の様子をお届けします!

→ [http://www.jiwet.jp/mailmaga\\_yuimaru/staff-info/seminar\\_56.pdf](http://www.jiwet.jp/mailmaga_yuimaru/staff-info/seminar_56.pdf)

●ボイスレコーダーの忘れ物をお預かりしています

上記の下水道新技術セミナー会場(虎ノ門：発明会館)にて、ボイスレコーダーの忘れ物がありました。舞台に向かって左側の前から2～3列目あたりの座席にありました。お心当たりの方は、下水道機構企画部(TEL:03-5228-6511)までご連絡を!

提供はこちらまで→



[jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。



せっかくの機会ですので、興味をお持ちになった方は是非ご参加ください。ワークショップの詳細な案内、申し込みは日本規格協会のサイトからお願いします。

<http://www.jsa.or.jp/water-workshop/index.html>

●下水道技術検定及び下水道管理技術認定試験を全国 11 都市にて  
11 月 11 日に実施します【日本下水道事業団】

日本下水道事業団は、平成 24 年度に実施する第 38 回下水道技術検定及び第 26 回下水道管理技術認定試験の実施の細目を決定し、6 月 1 日付の官報で公告しました。実施の主な内容は、以下のとおりです。

・実施期日 平成 24 年 11 月 11 日（日）

第 1 種技術検定：9 時 00 分から 16 時 00 分まで

第 2 種技術検定：9 時 00 分から 12 時 15 分まで

第 3 種技術検定：13 時 15 分から 16 時 30 分まで

認定試験（管路施設）：9 時 00 分から 11 時 45 分まで

・申込用紙の配布 平成 24 年 6 月 11 日（月）から 7 月 25 日（水）まで

・受験申込の受付 平成 24 年 7 月 2 日（月）から 7 月 25 日（水）まで

所定の封筒を用い、研修センター研修企画課に簡易書留郵便でお申込み下さい。  
(7 月 25 日までの消印有効。)

・技術検定及び認定試験に関するお問い合わせ先

日本下水道事業団 研修センター研修企画課（電話：048-421-2076）

詳細はホームページをご覧ください。

[http://www.jswa.go.jp/gijutsu\\_nintei/h24kentei&nintei.html](http://www.jswa.go.jp/gijutsu_nintei/h24kentei&nintei.html)

●7 月 26～27 日に第 4 回 EWA/WEF/JSWA 特別会議が開催されます【日本下水道協会】

下水道展 12（神戸）にあわせて、平成 24 年 7 月 26～27 日に第 4 回 EWA/WEF/JSWA 特別会議が開催されます。この特別会議は、3 年に一度開催され、EWA（ヨーロッパ水協会）、WEF（米国水環境連盟）、JSWA（日本下水道協会）の代表者の基調講演と約 20 の口頭発表、ポスターセッション等を実施します。日本の基調講演者として、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の川口淳一郎教授から「はやぶさチームリーダーが語る成功の鍵」と題し、ご講演をいただきます。6 月 14 日まで早期割引受付中です。研究発表会とのセット割引もごさいます。下水道展共々、ぜひこの機会に特別会議に足をお運びください。詳細は、下記の WEB をご確認ください。

問い合わせ先：公益社団法人 日本下水道協会技術研究部国際課

電話 03-6206-0289

<http://www.gesuikyoku.jp/conference/>

=====

【参考情報】

◆上下水道で国際貢献、市が中国やベトナムでインフラ整備支援へ/川崎 <6/1 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1206010017/>

◆クイズや工作でエコ学ぶ 岩国市 <6/3 中国新聞>

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201206030036.html>

◆芳香胸いっぱい 滋賀 <6/3 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/shiga/news/20120602-OYT8T01031.htm>

◆工事現場に彩りを 福岡市 <6/6 西日本新聞>

<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/306190>

◆「伊賀の三傑」善助 絵手紙で生涯描く <6/6 朝日新聞>

[http://mytown.asahi.com/mie/news.php?k\\_id=25000001206060004](http://mytown.asahi.com/mie/news.php?k_id=25000001206060004)

◆家畜の尿排水を脱色 県など共同開発 千葉 <6/6 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/chiba/news/20120605-OYT8T01473.htm>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

